

東京お茶の水ロータリークラブ



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために
2021-2022年度 RI 会長 シェカール・メータ

「My Purpose♥」を起点とし
「Inspiring」へ

2021-2022年度 クラブ会長 西村 美智子



本日の卓話

「公式訪問にあたり」

第2580地区ガバナー 若林英博様

今年度第1回 オープン例会

プログラム

司会進行	神保 宏充会員
開会点鐘	西村美智子会長
我らの生業 (ピアノ演奏のみ)	
ゲスト・ビジター紹介	中野 広行会員
ニコニコ報告	神保 宏充会員
会長報告	西村美智子会長
閉会点鐘	西村美智子会長

ゲストビジター

ゲストスピーカー	加藤登紀子様
ゲストスピーカー同行者	徳田 修作様
〃	西山 秀子様
田邊会員同行者	柴田 静峯様
青木会員同行者	高木 美加様

誕生日祝い

10月25日 今本義子会員

ニコニコボックス

西村会長 本日のオープン例会によろこお越し下さいました。ゲストの皆様、加藤登紀子様、どうぞよろしくお願ひ致します。

海江田幹事 加藤登紀子様、本日の卓話楽しみにしております。

青木会員 本日のゲストの皆様よろこお越し頂きました。また、私がお連れしたワックデータ・サービスの渡辺社長ありがとうございます。

土居会員 オープン例会に参加して頂き有難うございます。ロータリーの例会を楽しんで下さい。

高山会員 加藤登紀子様のご活躍をお祈りします。

田邊会員 本日の卓話、加藤登紀子様、宜しくお願ひいたします。

佐々木会員 加藤先生のお話が楽しみです。

牛島会員 本日はよろこお越し頂きました。

山下会員 加藤様の卓話が楽しみです！！

お茶会有志 残金をニコニコへ
計 29,000円 累計 250,146円

オープン例会ゲストの紹介

土居岩生会員 鈴木さんと話をしているとロータリーに向いている人だと思ひ、お声をお掛けしました

鈴木 凱星様 お茶の水 RC の皆様、本日はご招待頂きありがとうございます。ビーゴメディカル (株) は高濃度酸素の酸素マスクや酸素ポンペを病気の予 防用に転換できないかと 40 年今後とも、宜しくお願ひいたします。

山下憲男会員 わが社はシステム開発という技術的な会社ですが、それを支えてくださるデータセンターの高家さんです。

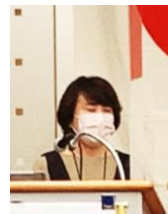
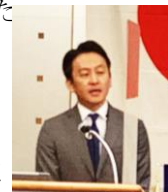
高家 伸行様 サーバーコンピューターやデータセンターの運用・管理をメインに業務しております。その他 HP 制作、食品事業 (オーガニック、有機などの自然食品) のを行っております。

青木隆幸会員 埼玉でワックデータサービス (株) 代表取締役の渡辺様を紹介致します。繊維業界で CPU の開発をされています。世界 80 か国、イタリアに本拠地をおいているビッグな方です。中央大学理工学部講師として登壇されています。

渡辺 和久様 私の会社のお客様は、衣服の繊維製品を大量生産する工業用の編み機を生産するメーカー様です。編み機はコンピューターで制御されていますが、それを研究開発し売上費 98% 近くは海外で、世界中のお客様に大変願ひしております。製品の特長としては、複雑な網柄ができる、特殊な編み組織によってスポーツウエアーなどの付加価値の高い繊維製品ができます。一方で大量生産が高いということも売りにしております。しかし、昨今、アパレル業界は、地球にとって最も優しくない業界と言われております。廃棄要素が多いという問題があります。今後は、私どものシステムを使って、いかに必要な分野に提供し、ロスを少なくし、地球環境にとって良いアパレル業界にしていきたい所存です。

中野会員 女性比率を上げるべくお呼び致しました。須山様は衛星放送を立ち上げ時より一緒に働いて参りました。その前はホリプロで働いていました。現在は新規事業に取り組んでいらっしゃいます。最近、熱海に引っ越しを考えているそうです。

須山奈緒美様 映像制作とマネージメントを 20 年近く仕事をしておりましたが、ここ 5 年は異業種の仕事を始めまして、また、コロナ禍に次亜塩素酸水で除菌水を作る仕事に携わっております。私のモットーは「誰かのために仕事をしたい」です。ここでお会いできた皆様にそんなご縁を頂けたらと思っております。



出席報告

会員数	38 名	ゲスト	9 名
出席数	25 名	ビジター	0 名
ZOOM	0 名		
欠席数	13 名	合計	34 名

会長報告 西村美智子会長

・松島会員に米山功労者第4回マルチプル表彰の表彰です。当クラブには第22回米山功労クラブで表彰状が届いています。

・日本経済新聞社 10月22日(金)朝刊全国版に、一面でロータリーの広告が掲載されました。日本のロータリー100周年を昨年迎えたことを契機に、ロータリーの活動をPRし、会員増強に繋げることを目的としております。メールでご案内いたしましたが、ホワイトボードに掲示しましたのでご覧ください。

・本日はロータリーの例会に初めてご出席の方もいらっしゃると思いますので、ロータリーについて簡単にご紹介致します。

ロータリーの紹介

ロータリーとは

1905年にシカゴで創設されたロータリーでは、110年以上、さまざまな職業をもつ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできました。

識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、120万人のロータリーの会員は毎日、世界のどこかで活動しています。

ロータリーの活動

切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えています。

ロータリーは以下の分野に重点を置いて活動しています。1. 平和の推進 2. 疾病との闘い 3. 水と衛生 4. 母子の健康 5. 教育の支援 6. 地元経済の成長

ロータリーの使命

職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

ロータリーはここが違う

地元密着の活動：人と人とのネットワークを生かして、地域の真のニーズを見極め、課題に取り組んでいます。多角的なアプローチ：さまざまな職業やスキルをもつ人たちがアイデアを寄せ合い、世界や地域がかかえる問題に対する独自の解決策を見出します。

倫理を大切に：責任をもって粘り強く活動し、その場限りではなく、持続可能な成果をもたらすことを目指しています。

・職業人に対し、本業における倫理感・高潔性を求める「職業奉仕」はロータリー固有の特徴

・慈善活動さえ行えば良いというコンセプトはない

ローカルとグローバルで変化をもたらす：ロータリークラブは世界のほぼすべての地域に存在し、それぞれが独自の活動を行っています。

多様性、公平性、開放性

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称えます。

ロータリーとポリオ

●ポリオとポリオプラス

ポリオ(急性灰白髄炎)は、ウイルス感染によって発症する病気で、ワクチンでの予防が可能です。感染した場合、ウイルスが神経組織に入って身体麻痺を引き起こし、



ときには死に至ることもあります。5歳以下の子どもに感染する確率が高く、「小児麻痺」とも呼ばれています。ロータリーは1985年、大々的な予防接種を通じてポリオの根絶をめざす「ポリオプラス」を開始しました。これまでに17億米ドル以上を投入し、ロータリー会員は、122カ国の25億人以上の子どもに予防接種を行うために多大な時間を捧げてきました。

また、アドボカシー(政府への働きかけ)を通じて、ドナー国政府からの72億ドル以上の資金確保に貢献しています。

●ポリオの現況と課題

現在も野生ポリオウイルスによる感染が続いているのは、アフガニスタン、パキスタンの2ヶ国となっています。2016年に報告された野生型ポリオウイルスによる発症数は37件となっており、毎日約1,000件の発症が確認されていた1980年代と比較すると99.9%以上の減少となります。

2019年の症例数は176件で、2020年には140件でした。その後、症例数は激減し、今年(7月27日現在)はアフガニスタンとパキスタンで1件ずつ、合計でわずか2件しか記録されていません(いずれも1月に報告)。

残る0.1%のポリオとの闘いが最も困難であると言われていいます。これは、遠隔地、不十分な公共インフラ、紛争、文化的障壁といった要因が、予防接種活動の妨げとなっているためです。ポリオを根絶するまでは、世界中の国が再発生のリスクにさらされています。

●ポリオを根絶するために

ロータリーは、今後3年間で毎年5,000万ドルを集めるファンドレイジングを行っています。

ビル&メリнда・ゲイツ財団とのパートナーシップにより、ロータリーからの5,000万ドルの寄付に対して、2倍の額の寄付がゲイツ財団から上乘せされます。

これらの資金は、根絶活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、保健従事者と親への教育のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人が大きな役割を果たします。

●活動するロータリーと

「あと少し」キャンペーン

100万人以上のロータリー会員が、ボランティア、寄付、募金活動を通じて根絶活動を支援しているほか、大勢の会員がポリオ感染のリスクが高い海外の地域社会に赴いて、予防接種活動に参加しています。また、ユニセフなどの団体と協力し、紛争や地理的・経済的要因によって隔離された地域で予防接種への認識を高めるためのコミュニケーション活動を実施しています。さらに、ボランティア動員やワクチン輸送などの手配面でも支援を行っています。

ロータリーは、ポリオ根絶に対する一般の認識を高めるために「あと少し」キャンペーンを立ち上げ、多くの著名人が参加しています。

東京お茶の水ロータリークラブの取り組み

●行動を重視する

私たちは、自分たちでアイデアを考え、実行に移す「行動人」。

クラブで、または国内や海外の仲間たちと一緒に、和気あいあいと活動しています。

●草の根レベルで地域を変える

私たちは、地元の人びとや団体と協力しながら、地域に根ざして活動し、持続可能な変化を生み出します。

●ニーズを見極め解決策を出す

私たちは、各会員がもつスキルと情熱を、地域の問題解決に生かしています。

多様な分野の経験と知識を結集すれば、ニーズを的確に見極め、解決策を見出すことができます。

「哲さんの声が聞こえる」

シンガーソングライター・女優 加藤登紀子様

紹介者 田邊 恵三会員

卓話者紹介 田邊恵三会員

3週間ほど前、おときさんのご主人が立ち上げた「鴨川自然王国」に誘われ、秋の大収穫祭というイベントに行ってきました。東京からアクアラインで1時間ちょっと、都会では想像できない、里山に抱かれた自然、風の匂い。今でもおときさんは時間があればそこに行き活動しています。そのちょっと手前にある古民家、古い土蔵に誘われました。素晴らしい焼き物、書がありました。おときさんはコレクターなのかと思いましたが、それは全部おときさんの作品でした。歌手、作詞家、作曲家、女優、書道家、陶芸家、画家と7つの顔を持つ女性です。今日お話し頂く、中村哲さんは、アフガンで銃弾に倒れました。医師であるような活動をされた方他には聞いたことがありません。

今日は歌は歌いません。歌を聞きたい方は、12月25日、26日のほろ酔いコンサートにお越しください。



「お茶の水」という地名には三つの想いがあります。まず、ニコライ堂です。ニコライ堂はロシア正教です。満州のハルピン学院（日露教会学校）に父が行っていました。そして、私が中学生の頃、父は働き場所のないロシア人のためにロシア料理店を開業し、そこで働いていたコックさんの息子さんがニコライ堂で素晴らしい結婚式をあげました。私の人生をそれまでモノクロールだったとすると、その日を境に天然色に変わったぐらい素晴らしいパーティでした。ワインの美味しさを知ったのもその時でした。

二つ目は、東大の入学式の帰り道、お財布がありません。ポケットにはわずか10円。交通費がないのです。スクールバスで「お茶の水」駅まで行き、そこから10円で電車に乗り東京駅まで行き、兄の勤める住友金属へ行きました。

三つ目が、私と藤本敏夫が逢引きする待ち合わせの駅が「お茶の水」でした。「お茶の水」というだけで私の心の中はウルウルしてしまいます。

藤本が1968年に学生運動のリーダーをしていました。私は1968年の3月に東大を卒業しました。大学途中で歌手になっていたのだから、学校に行く時間がなく卒業できるかどうかの瀬戸際でした。

高校生の頃から、安保反対のデモに参加したり、兄の影響で学生運動をしていたのですが、東大在学中は学生運動を卒業したような気持ちでいて、学生運動はをやっても世の中は変えられない、ちょっと子供っぽいという感じがして、学生運動には参加せず演劇活動をしていました。

私の父が、東大卒の女の子はほとんど将来性がない、おもしろい人生になるとは思えないと、勝手に歌手の道を決め、シャンソンコンクールに申し込みました。レコードデビューは歌謡曲歌手として、まだ21歳だった

のでヤングガールとして一生懸命やっていました。しかし、ふと気がつくと、卒業式がボイコットになるということが私の身に降りかかってきました。実はその直前までは、卒業式には安田講堂の前で振袖姿の写真を撮ると女性週刊誌と約束していた。そんな能天気な私でした。

しかし、私が歌手であるという事は、歌手という職業の衣を着て舞台の上に立って歌うことだと思っていました。私が

今決断を迫られているのは、産まれてから今まで、何を思っているのかということに対して答えを出す歌手として生きているのか、それとも歌手らしいことを一所懸命やってるだけなのか、どちらなのかということに突き付けられた気がしました。その時、みんなに怒られるかもしれないけど、明日は振袖では行かない。私はデモに参加すると決意をして安田講堂の前に行きました。明日から歌手の仕事はないぞと言われてもしょうがないと思いましたが、驚いたのは、みんなが喜んでくれたことです。「おときらしいことをやったね。」と新聞記者も喜んでくれ、社長の石井好子さんも、祝賀会で「今日の登紀子さんは、本当に素敵だった」と言ってくれました。

実はそのことがあって藤本敏夫と出会ったのです。それを見ていた藤本が、加藤登紀子を利用しようと会いに来て「元気づけに集会で歌を歌ってほしい」とお願いされましたが、私は「それは違うと思う。私はプロ歌手なので集会には行けない。私は機動隊と学生がぶつかっている時に、私は学生を支持しますとは言えない。私は時代が分断されることがあっても、心の中は繋がるもの、繋げるものは歌だと思っている。私はもう学生じゃない。いい加減な気持ちで歌手を政治に利用するのはやめて頂戴。」と言いました。藤本は、「その通りです。」と。その話は終わりにし、その晩語り合い、それが、学生運動の先頭にいる彼とそこにはいない私の出会いでした。

学生運動をしていて68年11月から69年6月までの8ヶ月、彼が拘置所にいる時に作った曲が、先ほどのBGM、「ひとり寝の子守歌」です。結婚したのはさらに3年後です。藤本が出所した時には、学生運動が見るも無残に四分五裂していた状態で、絶望した彼は学生運動をやめました。1969年です。その時に彼はゼロに戻り、全てやり直そう。人間と地球、そして自然との関係を振り返ると、産業革命以来、人間がやってきたことはなんだっただろう。もう一度自分はやり直したいと彼は言いました。その時に彼との人生が始まったと思っていますが、すぐにゴールインすることはできませんでした。3年8ヶ月の実刑判決が出て、獄中の彼と一緒に、2002年、彼は他界しました。

その年の1月に、初めて中村哲さんに出会いました。その前の年の2001年にアメリカによるアフガン攻撃の時に一時帰国した彼は、「今、アフガンでは大干ばつが起こっている。地球がもうほんとに大変なことになっています。何百万人の人が飢え死にしそうになって

いるのに、何を考えて爆撃するのか。今こそ全世界が手を結び、アフガンの人々や干ばつに対して何かしなければならぬ時に、何をしてるんですか。」と仰った時に、「その通り」だと思い、ほろ酔いコンサートで支援を続けていました。2019年に哲さんは亡くなってしまいましたが、哲さんのことをもっと知りたいと思い哲さんの本を読み、1冊の本にまとめました。重要なメッセージの中で3つだけ選びました。

「農業がある限り人間は生きていける 電化製品は食えないけれど、札束はやがて薪にしかなくなるけれども、食べ物さえあれば人間は生きていける」

これは私が結構好きな言葉です。藤本は半生を農業に捧げ、日本は農業国として生きてきた。日本は農業が基盤になって復活しました。ところが、95%が農民だったのに、今では5%もいなくなりました。こんな国では生き抜けません。「大地を守る会」で有機農業を助ける組織を作りましたが、最終的には、鴨川に農場を残しました。彼が農業にシフトするきっかけをつくったのは、寒河江 善秋という山形の人で、農業青年運動をやっていました。27歳でフィリピンで終戦を迎えましたが、一人も隊員を死なせずに帰ってきた部隊長です。彼のモットーは「戦争はできるだけさぼろう」やればやるだけ死ぬだけだから。爆撃が始まると防空壕に入って、退屈な時はお茶の会と俳句の会をしていたと言います。焼き物と書を始めたのが

彼が経済成長真ただ中の時に、「みんな、仕事はできるだけさぼろう」と言いました。何故かと言うと、今やっている仕事は、農業と違い命を支える仕事ではないです。人間として生きていくか。でも仕事もやらない訳にはいかないのだから、半分の手で仕事はするけれども、半分の手でいろんなことをやりなさい。まずなにより楽しく生きなければだめですよ。楽しく生きるにはどうするって言うことを一生懸命考えてください。遊びましょうよ。絵を描いたり、焼き物を作ったり、歌を歌うことが、人間にとってすごく大事なことです。そういう理屈の中で、人間として全人的に生きる場所が必要で、それが日本人にとって農業かもしれません。農業を基盤にあって物づくりが始まり、人が育ち、化学が進歩しました。そういう意味で農業を取り戻そうということが藤本の思いであり、医師の中村哲さんが「医者以前、食べるものがないと死ぬんです」アフガニスタンは100%自給の国だったので、それを取り戻せばこの国は生きて行けるというのが彼の信念となり、最終的に、用水路を建設し、何十万人という人の生活を守る偉業となりました。

アフガンにタリバン政権が発足し、今も議論が沸騰し国連制裁が続き、アメリカは銀行口座を凍結しています。振り返りますと2001年に哲さんが叫んだように、「今、飢え死にしそうな人がいる。干ばつはもっと進んでいる。全世界が支援しなければならぬ時に何を議論してるんですか。」ともし哲さんがいたら叫ぶと思います。女性の権利はどうなんですか？だけど長い

いいのかと言うことで続いていますアメリカ2001年はもっと進んでいるでやっと緑にしたけれども全世界が支援しなければいけないときにそういう意味で何を起動してるんですかその時でそういう事はもちろんあります日本の現状の中で何が大切されなければいけないかと言う事はこの2つの言葉で最後締めくくりたい

と思いますその地域の慣習や文化について劣っている優れていると言う我々の目から見て不合理なことがあってもそれに従わなければならないそれは400年前とイスラムの国として生きていくそこに入って偉そうにずっと女性が幸せだよほんとに人間はほんとにそういう深い悩みというか道を探しながら歩いている人間は本当に進歩と言うものに向かってきたはずももしかしたら世界が作れるかもしれないと思ってみんなやってきたけどこの絶望感みたいなものがあつたと思いますだから正しい正しくないどんな宗教であれありがたいと思いますもう一つだけとは分けられるものではないものがあるとすればそれは弱者を助け命を尊重することであるこの3つの言葉をメッセージとしてお届けしたいと思います。けれども今1万2001年のテロが終わった後にどうしますかって言うメッセージが何ができるかわからないことになってるんですけれども残念なのはこの凍結されたら銀行が日本から送金ができなくなっているの活動は現地ではもちろん始まっています皆が必要として止めるわけにいかないから始めましょうと言うことでの活動は受けていますけれどもそれに給料払ってあげなきゃいけないこれからどのように援助と相談したいと思っていますけれどもメッセージ今日は徹さんの声が聞こえる聞こえてくる声は今この2020一年の答えと言うことですのでありがとうございます



今後の例会

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 11月17日(水) | 「通訳の上手な使い方」
東京丸の内RC会長 古山真紀子様 |
| 11月24日(水) | 河川清掃とウォーキングクリーン
プロジェクト 10時頃集合 |